



豊高だより

平成28年3月25日発行 通算39号
埼玉県立豊岡高等学校

(題字は本校 小川 崇 教諭)

巻頭言

校長 内田一雄
◇生徒・職員の努力、保護者・地域の皆様のご協力に感謝致します。願書受付時倍率1.39倍!

念願の入学倍率向上がこの春は実現しました。偏に、関係各位の日々の努力とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。志願先変更をさせて頂きました。また希望に添えきれなかった皆様には申し訳ございませんでした。授業や部活動や学校行事に今まで以上に全校一丸となつて精進してまいりますので、今後ともご支援の程宜しくお願い申し上げます。

◇Q..学生時代に、何か没頭した経験はありますか?就職面接での必須質問だそうです。三月十六日実施の進路講演会の講師の方がご紹介下さいました。

多摩大学入試課の高部大問氏が、以前お勤めのリクルート社のご経験からのお話でした。なぜ、没頭経験の有無を尋ねるのか。その心は、一緒にチームとしての仕事ができるか、また、できない理由を探すのではなく、できる方法を考えるタイプかを探るためだからとか。また、没頭効果として、①詳しくなる、②語れるようになる、③個性が宿る、とも仰っていました。生徒からの質問に答えて、対象は、学業や部活動以外では、恋愛や読書を挙げていました。旅の効

用にも触れていました。生徒の皆さん、読書、新聞にチャレンジしてください。頭をアイドリイングし、心を耕すには最適です。

◇模擬投票体験に少々緊張
主権者教育「選挙啓発出前授業」を埼玉県と入間市の協力を得て実施
この夏の国政選挙から、新三年次生からも投票する生徒が出て来るでしょう。日本が世界から尊敬される国になるよう、これからの国づくりを強い義務感と責任感のもとで担っていかなくてはならないと心から願っています。

◇閑話休題..「次の三人に共通する性格はどういうものだと思いますか?」

①バイオマテリアル・ドラッグデリバリーの先駆者 東京大学大学院教授 片岡一則 先生

未来を変える新薬「ナノマシン」開発者。片岡氏は高校生の時に見た「ミクロの決死圏」というSF映画に触発され、血管から体内に入り治療・診断する極小マシンといっても、高分子ミセル(集合体)へサイズは50ナノメートル(50万分の1ミリ)という、がん細胞に取り込ませて薬物を放出する「トロイの木馬」のような薬の開発を行っています。将来脳腫瘍も切らずに治療が可能になる見通しと、子どもは、一度やり始めたら途中で止まらないのだという好奇心が旺盛で、一度やり始めたら途中で止まらないのだというこ

②日本版ノーベル賞II 日本国際賞受賞
現代の錬金術師 東京工業大学教授 細野秀雄 先生

新素材開発者 絶縁体のガラスを使い「IGZO半導体」という新素材を開発。省エネ且つ高性能で世界中の液晶TVやスマホの画面に利用されている。社会の困難を解決する科学者になりたくいと研究の道へ。地球上の多くの物質が材料としての活用を待っているのがわかること。

③日本から初めてパリ・オペラ座の第一舞踊手(頂点のエトワールに次ぐ地位)に昇進
オニール八菜さん

フランス人でも付属バレエ学校出身でもない不利を跳ね返してオペラ座の第一舞踊手に昇進した方。父親はニュージランド人。母親は日本人で日本舞踊の名手。「見た人の一生の記憶に残るようなダンスをしたい」と決意を新たにしているとのこと。

回答..回答例を一つ。自分の心に素直で、好奇心が旺盛で根性は半端ではなく、世の役に立つ仕事に嬉々として命を懸けています。

参考..「努力にまつわることは」
努力して成功すれば自信となる
努力して失敗すれば経験が残る
努力しないで成功すれば天狗になる
努力しないで失敗すれば後悔が残る
努力は生涯の友ですね。

各年次より

『新年度に向けて』

一年次主任 橋本克洋

三月二十六日から春休みが始まります。春休みの課題として国語・数学・英語から一年間の総復習が課せられています。一年間の総復習ですからかなりの量になります。春休み期間だけでは終わりそうにないので春休み前に課題を配布しました。進捗状況はいかがでしょう。か。新年度に向けて、しっかりと復習して下さい。

新年度が始まるとすぐに三年次の科目選択の調査があります。三年次の科目選択は二年次の科目選択より選択の幅が大幅に拡がり複雑になります。春休み中に自分の進路希望について考えて下さい。そして、春休みの課題である「入試科目調べ・志望理由書」を書きましよう。それを元に三年次の科目選択を再度検討してみして下さい。

新年度を迎えるにあたって、是非この一年間を振り返ってみて下さい。最善を尽くしましたか。まだ、やれることはありませんか。もう、やるべきことはありませんか。考えてみて下さい。そして、来年度に向けてしっかりと計画を立て、実行に移して下さい。

『三学期を振り返って』

二年次主任 天海雅充

二月五日の駅伝大会は、激しい優

勝争いが繰り広げられ、最後までハラドキドキする展開でした。大会を振り返ってみると、前半は一年次生が上位を占め、二年次生は苦戦しているように見えました。しかし、二年次生は昨年の経験を活かし、戦略的に後半に勝負をかけていたようで激しく追い上げました。終わってみると二年次生の強さが目立ち、総合成績では上位を独占、個人成績でも先輩としての貫禄を示した結果になりました。そして、大会を通してクラスの団結が強まり、級友との絆も深まったように感じられました。

今年度より職員室東側の掲示板に「さくら掲示板」が設置されました。三年次生の合格者が出るたびに、合格先が書かれたピンク色の桜の花びら形の紙が掲示されました。現在「さくら掲示板」はまさに満開の状態です。卒業生の進路結果が一目で分かります。二月下旬「さくら掲示板」の前で、受験結果の報告に来ていた三年次生に会いました。「お陰様でH大学に合格しました」と言われ、「毎日よく勉強していたよね。合格おめでとう」と言うよ。本当はM大学に合格しかったです。もともと早くから受験勉強を始めていれば良かったです」と言いながら少し悔しそうな表情をしていました。

二月の年次集会で進路担当の黒田先生から「早く受験生になろう」「二点(起床時間・就寝時間・学習開始時間)固定が大事であること」「受験は団体戦であること」等の話もありました。早く受験生になるこ

とが第一志望合格への近道です。一年後、先輩のように「もっと早く受験勉強に取り組んでいれば良かった」と後悔しないためにも、早く受験生になりましょう。来春、「さくら掲示板」が第一志望の進路先が書かれた桜の花びらで満開になることを願っています。

最後に、年度末の成績と出席状況を見ると、成績優良者評定平均値4.0以上は48名、昨年度よりも5名増えました。また、年間の皆勤者(無欠席・無遅刻・無早退・無欠課)は64名(3月23日現在)、その内48名は二年間皆勤でした。来年度も頑張ってください。

進路指導部より

進路指導主事 松村重宏

平成27年度進路概況について

この「豊高だより」の原稿執筆の段階では、国公立大・私立大の最終結果が発表されていないため、中間報告という形になります。平成27年度の進路実績を報告させていただきます。四年制大学280、短大14、専門学校(看護を含む)67、公務員6、就職4いずれも、延べ合格数です。

近年の入試動向ではMARCHE以上は一般受験が9割を超えますが、日東駒専を中心にAOや推薦が増加の傾向にあると言われています。四大進学についての本校の受験形態の様子はAO30、公募制推薦19という状況でした。昨年

最後の「A」

保護者会等の機会でも、進路実現にはPDCAサイクルが大切であることをお伝えしてきました。P:学習計画を立て、D:学習をして、C:模試等で定着力をチェックし、A:結果を分析して目標達成のための方策を探る(振り返り)という一連の流れになります。年度末を迎え、最後の「A」を完結する時期になりました。トランプの「A」は最強のカードです。学習の「A」も進路実現のための最強のカードです。

なりきる「1」の大切さ

最後に:一年次生は「高校生」になりきりましょう。二年次生は「受験生」になりましょう。なりきることが夢を現実近づけます。

Dreams come true!

※ 裏面に『平成二十七年度学校自己評価システムシート』を掲載しました。御覧ください。

平成27年度学校自己評価システムシート (県立豊岡高等学校)

目指す学校像	地域に根ざし、豊かな人間性を培う進学校
--------	---------------------

重点目標	1 学力向上に向け、授業改善に取り組む 2 個々の生徒の進路希望に応じた指導を充実させる 3 基本的な生活習慣の改善を図るとともに生徒の自律性を養う 4 生徒会行事・部活動を充実させるとともに自主的な学校生活に取り組みさせる 5 開かれた学校づくりに取り組む
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	15名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	本年度、進学重視型単位制高校の完成年度となり、教育課程の統一が図られた。今後さらに単位制の教育課程を生徒の進路実現のために効果的に運用する必要がある。また、選択授業の設定・展開の仕方の研究を深める必要もある。	単位制の教育課程を効果的に運用する。	①「学習ガイドブック」を効果的に活用した履修指導を行う。 ②教育課程の現状を分析し、改善点を把握する。 ③保護者向けに教育課程、履修内容の説明会等を開く。	①履修指導により、単位制の特徴を理解されたか。 ②履修指導・授業等を通じ、教育課程の問題点を把握できたか。 ③教育課程、履修内容について、保護者の理解が得られたか。	目標がほぼ達成できた。 ①複数回の説明会を行うことで、選択科目と進路実現の繋がりや示し理解を得た。 ②教育課程の問題点の把握に努め、多面的に検討を始めた。 ③保護者会を開き、教育課程、進路実現に向けた説明を実施した。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程、選択科目等の履修指導が進路指導、キャリア教育と結びつこうに保護者に情報提供を行い、家庭でも進路について話し合えるようにする必要がある。 ・授業研究や大学入試問題研究を積極的に進め、問題点や工夫点を共有する必要がある。 ・授業3箇条は、ほぼ達成できているので、授業における、次なる目標の設定を行う必要がある。
		授業改善の取組を継続する。	①相互公開授業、授業研究会を実施し、学校全体の授業への取組を活性化させる。	①相互公開授業、授業研究会を実施できたか。	目標がほぼ達成できた。 ①各教科を中心に相互公開授業や授業研究を実施した。	A	
		進路実現に向けて、自学自習の習慣を確立させる。	①授業3箇条(チャイム着席、机上整理、授業に集中)を徹底させる。 ②自習環境の整備を図り、自学自習の習慣を身に着けさせる。	①「授業3箇条」を教室掲示等により徹底させることができたか。 ②自学自習の環境を整え学習習慣を身に着けさせられたか。	目標がほぼ達成できた。 ①授業3箇条を教室掲示し、集会等で生徒に働きかけた。 ②自習室等の環境整備を行い、早朝学習推奨キャンペーンを実施した。	A	
2	生徒各自は進路実現に向けた意識はある程度もっている。しかし、踏み込んだ進路研究ができていないため、具体的な進路イメージを持っていない生徒も見られる。今後さらに進路実現に向け、継続的に取り組む指導が必要である。また、学校で自主学習に取り組む生徒も多くなり、学習環境の改善も必要である。	進路実現へ向けて、継続的に取り組む指導を行う。	①具体的な進路イメージが持てる効果的なガイダンスを実施する。 ②進路実現への意識を高めるために生徒面談を充実させる。	①効果的なガイダンスが実施できたか。 ②面談等を通して進路実現へ向け、生徒の意識を高められたか。	目標がほぼ達成できた。 ①効果的なガイダンスを実施した。 ②学期ごとに面談を実施し、進路実現に向け、生徒の意識を高めた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を高める場の形成が重要である。豊高ゼミなど、場を形成する努力を続けて欲しい。生徒が同じ方向を向くようになれば指導しやすい。 ・進学校としての進路指導、生徒指導に効果を表している。
		各教科と連携をとり、計画的な補講等を行う。	①計画的な進路補習を実施する。 ②きめの細かい小論文・面接指導を行う。	①計画的な進路補習等が計画・実施できたか。 ②計画的な小論文・面接指導ができたか。	目標がほぼ達成できた。 ①長期休業や放課後等に計124講座の講習を開講し、さらに国公立進学希望者に対しては5教科6科目の進路講習を夏期10日間、冬期5日間開設した。 ②計画的な小論文・面接指導を実施した。	A	
		保護者・生徒・職員へ向けた計画的な進路情報の収集と発信を行う。	①研修会への参加や先進校視察等を通して、進路情報や指導法を収集する。 ②各年次との連携を密にし、進路情報の共有を図る。 ③保護者会などを通して、進路情報の提供を図る。	①各種研修会や先進校視察により進路情報を収集し、指導に生かすことができたか。 ②各年次と進路情報を共有することができたか。 ③保護者会などで、有効な進路情報が発信できたか。	目標がほぼ達成できた。 ①②各種研修会や先進校視察で得た進路情報を職員で共有化した。 ③三者面談や保護者会、さらにPTA主催「進路Q&A」等を通じ、保護者に有効な進路情報を提供した。	A	
3	生徒は規律ある学校生活を送ることができている。しかし、一部生徒に服装等で指導を受ける生徒も見られ、指導の徹底が必要である。また、昨年同様に、いじめ防止体制の整備、交通安全教育の充実をさらに進めていく必要がある。	頭髪、服装を整え、学業に集中できる姿勢を維持させる。	①登校指導で、制服の正しい着用を呼びかける。特に「スカート指導」の方針を徹底させる。 ②集会時や定期考査時に全体基準に基づいた指導を進める。	①制服を正しく着用させられたか。特に「スカート指導」が徹底できたか。 ②全体基準に基づいて、統一した指導が行えたか。	目標がほぼ達成できた。 ①正門でのスカート丈はほぼ正常であったが、校内に入ると短くなる生徒が一部いる。 ②集会時や定期考査時に統一した指導を行うことができた。また、再検査も実施した。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況は非常に落ち着いている。頭髪・服装指導が減少したこともあり、「スカート丈」指導を実施した。その結果、極端に短くする生徒はいなくなった。生徒指導部が第一目標と考えていたことは達成したと言えることはできる。しかし、更なる向上のため、「校内に入ると短くなる生徒が一部いる。」現状を改善したい。 ・そのために、学級担任・教科担当・部活動顧問等、生徒指導部以外の先生方に、今年度以上に協力をして頂き、HR・授業・廊下・部活動等での注意徹底が必要である。
		いじめ防止の体制を整備する。	①いじめアンケートを実施する。 ②いじめ対策委員会を活用する。	①いじめの防止、早期発見に効果はあったか。 ②いじめ対応は組織的に行われたか。	目標がほぼ達成できた。 ①いじめアンケートで実態把握ができた。 ②いじめが疑われる案件を組織的に対応できた。	A	
		交通安全について更に注意を継続する。	①ステッカーによる自転車の管理を徹底する。 ②毎朝正門で注意喚起する。また、交通安全教室を実施する。	①登下校に使われる自転車は管理された状態にあるか。 ②交通安全教室は効果的に実施されたか。	目標がほぼ達成できた。 ①自転車・ステッカー点検を行った。自転車置き場を整備し整列駐輪指導も行った。 ②狭山警察署員による交通安全教室を実施した。また研修会に生徒を参加させた。	A	
4	新校立ち上げから3年目、新たな生徒会行事について概ねスタイルが整った。今後は文化祭、球技大会など既存の行事の発展を視野に生徒の実態に即した組織面、運営面の見直しが必要である。全般的に各種活動は効率的、計画的に進められ改善されつつある。常に向上心を持たせるために継続的な指導が必要である。	年間をとおし、生徒会活動を充実させる。	①現状を分析し改善点を把握する。 ②総括、事後アンケートなどを積極的に活用する。	①現状の活動を分析し、新たな企画を取り入れたか。 ②行事で総括を活かしたか。	目標がほぼ達成できた。 ①現状の活動を見直し、新たな取り組みの土台作りを着手した。 ②前回の総括を概ね活かした。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな実行委員会組織における生徒会本部の関わりがこれまで以上に重要になる。新たな組織を今後安定化させていくことが最重要課題である。 ・そのために、一般生徒との距離感および働きかけをよりいっそう強めさせたい。生徒会部教員の適切な支援もこれまで以上に必要である。
		各行事において生徒の主体性、協調性を育成し、行事の充実を図る。	①文化祭、球技大会を中心に現状分析と組織の見直しを図る。 ②実行委員会組織の在り方の検討を継続的に行う。	①既存の行事に改善を図れたか。 ②新たな実行委員会組織の見直しを具体化できたか。	目標がほぼ達成できた。 ①各行事で新たな改善を図ることができた。 ②来年度に向けた実行委員会組織の具体的な提案を図れた。	A	
		部活動の活性化についての取組を継続する。	①部活動の活性化について定期的な支援を検討する。	①部活動の活性化について具体的な支援体制を作れたか。	目標がほぼ達成できた。 ①部活動予算面で具体的な検討を図れた。	A	
5	本校の教育活動について保護者、地域の理解を深めるため、積極的な情報発信とともに情報収集にも心がけ良好な関係を維持する必要がある。また、単位制が完成し、発展期に移行しつつあることが十分周知されるよう、全職員の共通理解と協力の下、広報活動を展開する必要がある。	保護者との良好な関係を培う。	①諸会合や配布物、WEB等を活用し、意思の疎通を図る。	①情報の相互発信により、保護者と良好な関係が築けたか。	目標がほぼ達成できた。 ①良好な関係が構築できた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会他の行事を通じて、これまで通り保護者との良好な関係を維持する。 ・生徒募集のための説明会の参加者が増加していること、本校の狙いとしていることが周知できていることなど、これまでの広報活動が実を結びつつある。より強固な職員全体制が次年度の課題となる。
		地域等に情報を発信する。	①WEB等による情報発信を行う。	①情報発信の頻度、質は十分か。	目標がほぼ達成できた。 ①行事ごとに発信できた。	A	
		中学生、その関係者に対する生徒募集に関わる情報提供と働きかけを行う。	①他校より優れた仕組みを説明会、印刷物、WEBにより広報する。 ②生徒を通じて学校生活や本校の優れた点を伝達する。 ③全職員の協力によるイベントを実施する。	①本校の強みは伝わっているか。 ②生徒の活動はアピールできたか。 ③殆どの職員が関わるようにできたか。	目標がほぼ達成できた。 ①説明会でのアンケート、近隣中学校の評価から伝わったと判断できる。 ②アピールできた。 ③おおむね達成できた。	A	

学校関係者評価
実施日 平成28年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・熱意のある指導に感謝する。家に帰るとテレビなどの誘惑に負けてしまうので、学校になるべく長い時間いられるようにしていただきたい。 ・進学校としての雰囲気作りに一丸となって取り組んでいって欲しい。 ・自学自習の時間確保に学校として支援をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を高める場の形成が重要である。豊高ゼミなど、場を形成する努力を続けて欲しい。生徒が同じ方向を向くようになれば指導しやすい。 ・進学校としての進路指導、生徒指導に効果を表している。
<ul style="list-style-type: none"> ・制服指導は苦勞されていると思うが、「豊岡高校は厳しく指導する」と学校説明会などできっぱりと明言された方が結果として良い方向に向かうと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・常任制度を廃止し、来年度から実行委員会組織で、文化祭や球技大会を運営していくとのこと。良い方向に替わっていただいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・受験希望者数の急増は素晴らしい。先生方の努力の結果である。 ・保護者アンケートから、保護者の満足度が高いことが窺い知れる。 ・HPの発信は重要。個人情報問題もあるがHPに生徒の写真などが載っていれば、豊岡高校に対する帰属意識が芽生えるのではないかとと思う。